

区民会議から始まる地域での取り組み

～地域の力をつなげて住みよいまちをつくろう～

区民会議では第1期で6つのテーマについて審議し、地域の課題を区民と行政が協働で解決するための提言を行いました。提言を踏まえた、地域での取り組みを紹介します。

区民会議とは？

地域にはどんな課題があり、その課題を地域でどう解決したらよいかについて、調査・審議します。区民会議の提言に基づき、区民と行政が協働で解決を図っていきます。委員は、地域団体からの推薦と公募による20人で構成されています。任期は2年間、第1期は18年7月、第2期は昨年7月にスタートしました。

魅力づくりと市民活動の推進

つながりの輪、ともだちの和、環境の環、日吉の「ワッ」



七草がゆに舌鼓



実物の「七草」の展示も

2月1日、小倉わんぱく広場で正月行事の体験イベントが行われました。多くの親子が参加し、七草がゆの試食や昔遊びなどを楽しみました。これは、「日吉のワッ～日吉のタカラモノを次世代につなげるネットワーク」が企画したものです。日吉地区の活動団体がネットワークをつくり、地域資源の発掘やその活用を通して、住民同士の親睦を深めています。

今後行う行事予定や、活動に参加したいなど、詳しくは日吉分館までお問い合わせください。

日吉分館
☎587-1491
☎587-1494



すいとんづくりにも挑戦

地域防災活動の推進

災害時、避難所の運営をスムーズに



避難所運営会議

地震や水害などの大災害時に設けられる避難所。主に町内会・自治会など地域住民組織が運営を担当します。非常時は、一時に多くの避難者が詰めかけることも予想されます。こうした事態に備えて、区役所では、昨年末に避難所運営マニュアルのDVD（13分）を作成し、区内の各避難所運営会議に配布しています。区自主防災組織連絡協議会の小島春男会長や古川小学校避難所運営会議の松野順一会長など住民が出演して、いざという時に備えて迫真の演技をしました。小島会長は「避難所では高齢者や子どもなどの災害弱者を優先し、また普段の訓練で地域住民同士が顔見知りになることも、災害時の助け合いに必要」と話しています。



食料配給シーン

避難所や防災について、詳しくは地域振興課までお問い合わせください。
区役所地域振興課
☎556-6610
☎555-3130



ごみ減量・リサイクル

正しい知識を出前講座で

- Q 「硬くて取れにくいペットボトルの口の部分（プラスチック）はどうしたらいいの？」
- A 「無理に取らなくてOKですが、ラベルとキャップは必ず取り、つぶして出しましょう」



ふれあい出張講座

ごみ分別の身近な疑問に答えてくれる「ふれあい出張講座」。市職員が現地に出向き、希望するグループに実施しています。参加者にはさいわいマイバッグのプレゼントも。この取り組みを広げるため昨春秋、区町内会連合会により区内3箇所で開催されました。【☎下記事参照】

新聞などはごみに出さずに資源集団回収へ

市内では、町内会・自治会、PTAなどが、家庭から出る新聞・雑誌・ダンボール・古着などを回収リサイクル業者に引き渡す「資源集団回収」活動が行われています。回収対象は業者によって異なりますので案内板などで確認してください。市内ではまだまだ皆さんの資源物が普通ごみとして出されているのが現状です。さらにリサイクルを進めましょう。



資源物を正しく分別

区川崎生活環境事業所
☎541-2043 ☎548-8442



自転車にかかわる交通安全

自転車マナーアップ呼びかけ隊始動



マナーアップを呼び掛け

東古市場市営住宅自治会では、昨年10月から登校時の見守りを兼ねて、自転車利用者にマナーアップと交通安全を呼び掛けています。今ではお互いが顔見知りになり、地域のコミュニケーションも活発に。区ではこのような活動を行う団体にのぼり旗などを貸し出しています。詳しくはお問い合わせください。
区役所地域振興課 ☎556-6605 ☎555-3130

大人も子どもも守って 自転車のルール

区では、こどもの安全安心自転車マナーアップ標語コンクールを行いました。区内小・中学校から786作品の応募があり、最優秀賞2点などが選ばれました。『二人乗り いっしょに危険が 乗ってくる』で最優秀賞を受賞した中野澗太くん（小5）は「兄と二人乗りをしていて転びそうになったことを思い出しました。もう二人乗りはできません…（笑）」とコメント。『「すみません」ベルならすより こえかけて』で同じく最優秀賞を受賞した三浦充人くん（小1）は「お母さんに少しヒントをもらって考えました。受賞はうれしかったです」と話してくれました。



中野澗太くん

区役所子ども支援室
☎556-6693 ☎555-3191



三浦充人くん

高齢者の健康づくり

このまちで元気に暮らそう



のびのび体操

いきいきとした人生を送るには、健康がまず一番。幸スポーツセンターで行われた『のびのび体操』（★）は60歳以上の人を対象とした健康体操講座です。友達の輪がひろがり、仲間づくりにも大いに役立ったようです。

健康長寿推進モデル事業として行われている『河原町健康長寿まつり』は、年1回65歳以上の住民の体力測定などを行うというもの。同団地は高齢化が進んでおり、同団地内の自治会長、君和田孝さんは「高齢者は意識して外に出ないと引きこもりがちになってしまうので、団地内でのイベントをたくさん行いたい」と話しています。

『男性シニアの食と健康講座』（★）は、包丁の使い方から学べる初心者向けの内容が好評でした。全5回の調理実習で、最初は時間内に終わらなかったものの、最終日には予定時間前に調理を終了するという目覚ましい進歩を遂げました。

高齢者の健康づくり全般に関するご相談やお問い合わせは、地域保健福祉課までどうぞ。
区役所地域保健福祉課
☎556-6648 ☎556-6659



男性シニアの食と健康講座



河原町健康長寿まつり

安心して子育てできる環境づくり

みんなで子育てを楽しもう支え合おう



エコバッグにお絵かき

「地域子育て支援センターふるいちば」は未就学児とその親をサポートする活動を広く行っている施設です。特徴的なのは、運営面でボランティア交流会が大きな力となっていること。庭に新しい遊具を設置したり、畑をつくったり、もちろん来館した親子とのふれ合いもその活動の一つです。「自分たちのできることをやっているだけです」と代表の石野實さん。今年は提案型協働推進事業の『楽しく子育て@ふるいちば』（★）を企画し、11月には「移動動物園」、1月には「みんなで楽しもうフェスタふるいちば」を行いました。「フェスタふるいちば」は、コンサート、歯科医による講演会、工作、紙芝居、枯葉プールなど盛りだくさんで、各親子が好きな遊びを充分楽しんでいました。地域子育て支援センターふるいちばでは、親子が安心して過ごせる場の提供や子育て相談などを行っています。お気軽にご利用ください。ボランティア活動に興味のある方も、ご連絡をお待ちしています。



ボランティア会員さんと一緒に

区役所子ども支援室
☎556-6693 ☎555-3191

提案型協働推進事業とは？ 地域の課題を解決するための具体的な事業提案を募集し、提案した団体が市と委託契約を結んで、事業を実施するものです。昨年は区民会議の提言に関する「高齢者の健康づくり」と「子育て支援」のテーマで募集しました。公開プレゼンテーション等の審査を経て3団体が事業を実施しました（上記★参照）。今年の募集については4面をご覧ください。